

令和3年2月12日

徳島県知事 殿

申請者 住所 阿南市吉井町原18番地の2
氏名 谷 多美子



徳島県環境学習実践モデル事業実績報告書

取り組み名	すごいぞ加茂谷！希少種生物と遺跡のまちづくり	
実施主体	名 称	阿南市吉井小学校
	代 表 者 名	谷 多美子
	主たる事務所の所在地	阿南市立吉井町原18番地2
	規 約 等	
連絡先	職 名	同上
	担 当 者 名	同上
	電 話	0884-25-0210
	F A X	0884-25-0221
	メ ー ル	yoshiisyo@mg.pikara.ne.jp
開始・終了	令和2年9月～令和3年2月	
計画実施の概要	<p>(1) 概要</p> <p>①防災について上流域の森林の役割を学習したり、間伐材を利用した箸づくりをしたり、那賀川流域の身近な環境保全活動について意欲が高まった。</p> <p>②理科、総合的な学習の時間の目標や内容との関連を図りながら、阿南市の固有種アナンムシオイや稀少カタツムリについて外部講師を招聘しての学習を行った。3年次の継続学習として、生息地でのフィールドワークを行った。</p> <p>③児童会活動でのクリーン作戦や節電・節水の取組、栽培活動を児童が主体的に行い、地域社会の一員として環境保全を考えた実践的态度を育てた。児童、保護者、地域の方と共に地域オリエンテーリングを行った。</p> <p>④地域のゲストティーチャーを招き、花や野菜の栽培活動を行った。季節の変化や身近な自然環境への関心を高め、植物と生活を。</p> <p>⑤若杉山辰砂採掘遺跡について昨年度作成のリーフレットと本年度の稀少カタツムリのリーフレットを学習の成果物として印刷し、本校の特色ある教育として広報活動時に使用するとともに、地域の貴重な自然や産業について地域外の人にも関心をもってもらうことで、それぞれの地域においても環境保護活動への広がりを願いリーフレットを活用したい。</p> <p>(2) 成果及び評価</p> <p>自然豊かな地域のよさや地域の産業、環境保全活動に携わる人の思いを理解し、環境問題への関心を高め、主体的に地域社会の持続的な発展と地域の環境保全に主体的に行動する素地を作ることができた。</p> <p>(3) 反省と今後の対応策</p> <p>本事業が完了後も、地域の自然環境を教材にした教育活動を継続したいと考える。そのためには、この事業を通して新たな関係を築くことができた各団体、講師等と連携しながら、本校の特色ある教育活動の一つとして環境学習を位置づけたい。</p>	

※A4判用紙1枚(片面)、縦使い、横書きで作成のこと。

別に、「取り組み期間における学習計画実施結果表」、「資材・教材等の種類・額の一覧」について、それぞれA4判用紙1枚(片面)に作成し、添付すること。

様式第1号（第5条関係）

取り組み期間における学習計画実施結果表

活動内容
4月～8月・家庭学習であさがお、ミニトマトの栽培活動（1, 2年 NO.11）
5月・藍苗の植え付け（教職員、保護者、地域有志）
6月・まち探検（1, 2, 3年）
5月～9月・グリーンカーテン用ヘチマ、ゴーヤの栽培（4年 NO.13）
6月・クリーン作戦（全校 NO.12）
6月～2月・野菜の栽培（2, 3, 特別支援学級 NO.13, 15）
9月・藍染め体験（4年 NO.26）
10月・森林の役割学習（5年 NO.26）
10月・いちご栽培出前授業（2年 NO.26）
9月・カタツムリ学習（3年）
10月・カタツムリ学習（フィールドワーク事前学習）（4年）
11月・カタツムリ観察フィールドワーク（4年 NO.29）
11月・加茂谷元気な町づくり協議会出前授業（3年）
11月・かも谷へんろみちの会出前授業（3, 4年）
12月・ミカン収穫体験（6年）
12月・地域オリエンテーリング （全校児童、教職員、保護者・地域ボランティアの方 NO.33）
9月～1月・地域紹介リーフレットづくり（4年, 5年）
1月・環境学習（動画視聴）（4年）
1月～2月・野菜収穫（2, 3年）
1月・PTA資源ごみ回収（教職員、保護者 NO.37）
1月・環境学習フォーラム発表（教職員）
1月・那賀川河川清掃ボランティア活動 （地域ボランティア主催、児童、保護者、教職員より参加）
2月・授業参観（地域学習発表）（3, 5年）
一年間を通して ・体育・栽培委員会の栽培活動
・児童会による電気、水道使用量調べ
・環境学習（全校各学級で理科、総合的な学習の時間、生活科、道徳等との関連で）

※（別紙参考資料：学校便り、4年生作成リーフレット）

資材・教材などの種類・額の一覧

「別添資料」参照